



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫 ■ 「天国のしるし」

クリスマス礼拝の後の「み言葉の学び」のクラスで吉井幸子姉のリードで賛美練習をしようと云う時だった。池田周一兄が、証しをしたので、賛美の前に5分ほどだけいただけますかと尋ねてきた。それはまさに現代の奇跡であった。

十二月に入った頃、車のディーラーをしている友人から電話があり、シェアしたい事があるので、ぜひお店に来て欲しいとのことでした。年末の挨拶も兼ねて行ったところ、最近、彼に起きた次のような出来事を話してくれました。

「私のカスタマーの待ちに待った納車の日のことでした。十二月に入って忙しい日々が続いていて、その日も忙しく食事も取れないような状態でした。やっと自分のデスクに座って、ふと電話に目をやると赤いランプが点滅しています。それはボイスメールが入っているというサインです。さつそく聞いてみましたが、ザーという雑音が入っていて、あまりよく聞き取れません。何度も繰り返し聞いて、やっと聞き取れた伝言は、男性の声で「Please make sure to perfect for her」(彼女のために完璧に準備してくれ)という内容でした。それでそのメッセージが誰からのものだったのかを受付で確認したところ、今日納車予定のタミーの携帯番号からでした。それで、きつとご主人からのメッセージなのだと思います。彼女が待っていたのです。彼女が来店したので、『さつきあなたのご主人から電話がありましたよ』と言ったところ、彼女はげん顔をしました。そして『そんなはずはないか。話を聞けば、ご主人は長いことガンを患い、入院生活をしていたそうです。そのような中で奥さんは車のために少しづつ貯金をし、ご主人もその日を楽しみに病院の窓から『あんな車がいいね』などと話し合っていたそうです。しかし、残念なことにその車を見ずに天国へ召されていきました。この伝言は一体どのように説明したら良いのでしょうか。でも、ひとつ分かることは、ご主人の奥様に対する愛がそうさせたということです。タミーとセールスマンは二人とも言葉を失い、抱き合っただけでひたすら泣いたということでした」

このような出来事を人は偶然というかも知れない。でも、愛する者を失い、失望のただ中にある妻としては、それはどんなに嬉しいクリスマス・ギフトであったらうか。それはまさしく天国からの贈り物であった。ちょうど、天使が羊飼いたちが「それが、あなたがたに与えられたしるしである」(ルカ二・12)と告げたように、天国で夫が待っているとの愛のしるしであるかのようだ。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

